



報道発表

2017年11月30日

イノベーション京都 2016 投資事業有限責任組合の投資について

京都大学イノベーションキャピタル株式会社（以下「京都 iCAP」）（本社：京都市左京区、代表取締役：室田浩司）を無限責任組合員とするイノベーション京都 2016 投資事業有限責任組合（以下「KYOTO-iCAP1 号ファンド」）はこのたび、京都大学の研究成果を活用するベンチャー企業である Chordia Therapeutics 株式会社（以下、Chordia）（本社：神奈川県藤沢市、代表取締役：三宅 洋）への投資を実行いたしました。

○Chordiaへの投資について

Chordia は、武田薬品工業株式会社においてがん領域創薬研究のリーダーを務めていた三宅氏を代表とする 6 人の研究者により創業されたベンチャー企業であり、新規抗がん薬の研究開発を主力事業としています。Chordia は設立に伴い、これまでに創業者らが開発してきた複数のプログラムを武田薬品薬品より引き継ぎます。今回の調達により、自社パイプラインの研究開発の推進と国内外の大学との共同研究に取り組んでいきます。

リードプログラムである CDC 様キナーゼ（以下、「CLK」）阻害薬は、遺伝子発現制御に関わるスプライシング反応を制御します。Chordia の科学アドバイザーでもある京都大学大学院医学研究科の小川誠司教授（腫瘍生物学講座）は、がんゲノム解析を介して世界で初めてがんにおけるスプライシングの異常を発見しました。Chordia と小川教授はそれぞれの知見を活かして、CLK 阻害薬の研究開発を進めています。また、成人 T 細胞白血病リンパ腫 (ATLL) 治療薬の創出にかかる共同研究についても、日本医療研究開発機構 (AMED) の産学連携医療イノベーション創出プログラムの支援を受け、Chordia と京都大学、宮崎大学にて進めています。

京都 iCAP は、難治性がんで苦しむ患者さんに新規治療薬を届けたいという Chordia の経営理念と、同社が保有するパイプラインのポテンシャルを高く評価し、同社が実施する総額約 12 億円の第三者割当増資に応じ、2.5 億円の投資を実行しました。なお、この第三者割当増資には、武田薬品工業株式会社、SMBC ベンチャーキャピタル株式会社、三菱 UFJ キャピタル株式会社も参加します。

Chordia Therapeutics 株式会社の概要

設立	2017年10月12日
事業内容	新規抗がん剤の研究開発



本社所在地 神奈川県藤沢市
代表取締役 三宅 洋

○京都大学イノベーションキャピタル株式会社（京都 iCAP）について

京都 iCAP は、京都大学に属する研究者による知（研究成果・技術等を含む）を事業化することを目的とする企業（共同研究企業からのカーブアウトを含む）へ、投資その他の支援を行うことを目的に、2014 年 12 月に国立大学法人京都大学の 100%出資子会社として設立されました。当社は、2016 年 1 月に京都大学及び民間金融機関からの出資を受け、当社を無限責任組合員とする 160 億円の KYOTO-iCAP1 号ファンドを組成いたしました。

当社では、基礎研究に強みを持つ京都大学の研究成果を基に、その実用化を志向する大学発ベンチャーに対して、期間 15 年のファンド運用期間を活かして、シード・アーリーステージの段階から長期に亘る支援・出資を行ってまいります。

【お問い合わせ先】

京都大学イノベーションキャピタル株式会社
〒606-8317 京都市左京区吉田本町 36 番地 1
京都大学国際科学イノベーション棟東館 4 階
投資部 プリンシパル 兼 広報統括責任者 河野修己
TEL : 075-753-5303 FAX : 075-753-7592
E-mail : info@kyoto-unicap.co.jp